

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「川口市はたちの集い実行委員会」

昭和26年の「成年式」に起源をたどり、昭和54年から現在の名称となった「川口市はたちの集い」。平成6年の第44回から、自分たちの式を自分たちで創ってこうと、成人を迎える人たちが委員として「川口市はたちの集い実行委員会」に参加。主体的に企画・運営を行っています。1月9日（祝）、リリアおよびリリアパークを会場に開催される62回目の運営を担う実行委員会のみなさんを岡村市長が訪問、成功にける意気込みなどを聞きました。



市長 新年あけましておめでとうございます。清々しい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。今年も一年間「市長のふれあい訪問」をよろしく願います。今月の市長のふれあい訪問は「川口市はたちの集い実行委員会」のみなさんです。どうぞよろしくお願います。はじめに新年を迎えてどんな気分ですか。

町田 9日に開催される「はたちの集い」まであと少しなので、実行委員長として今から緊張しています。

渋谷 小・中学生のときは、まだだと思っていました。いざ成人を迎えるとなると感慨深いものがあります。

市長 式典に実行委員で参加するというのはどのような感じですか。

大園 選ばれてとても光栄です。みんなで頑張ってきたので、素晴らしい式にしたいです。

市長 どのような経緯で実行委員になったのですか。



志賀 実行委員13人のうち、多くのメンバーが、卒業した高校の先生の紹介で応募しました。

薬 人生一度のチャンスなので、自分で式を作ってみたいと思いつきました。

市長 いまごろから活動しているのですか。

町田 去年の9月から会議を重ね準備を進めてきました。

渋谷 会議は、月に2回程度、土曜日に開催しています。

市長 会議はどんな様子ですか。

渋谷 和やかな雰囲気ですが、今回のテーマを決めるときは、熱い意見がぶつかりました。

市長 テーマは「咲き誇れ、これからの自分へ」ですね。どのような思いを込めたのですか。

大園 成人を迎えることで、新たなスタートラインに立ち、新しく始まる人生で一人ひとりが、

開花し、咲き誇ってもらいたいとの気持ちを込めて決めました。

市長 いいですね。ところで、実行委員に参加して改めて気付いたことなどはありますか。

志賀 今までの自分を振り返り、これからの自分についても考えるきっかけになりました。

薬 支えてくれた親や、先生方への感謝の気持ちがより一層強くなりました。

市長 一時期、荒れた成人式があり、親世代が手本を見せようと、50歳以上の方が盛んな人と書いて「盛人式」を始めました。昨年の盛人式にはみなさんも参加されたと聞きました。

町田 はい。委員全員で参加しました。

市長 盛人式に参加してみようでしたか。

町田 人生の節目、節目で自分の人生を振り返る、いい機会だなと思いました。

志賀 非常に楽しそうで、生き生きとしていたので、自分も30年後ああなりたいと思いました。

市長 30年後の盛人式で、みなさんが再会できたと思います。盛人の人たちが「はたちの集い」をお手伝いをされると伺いましたが。

町田 記念品の引き渡しでお世話になります。

市長 盛人世代と成人世代が交流することです。とても意義のあることですね。それではみなさんから改めて決意をお聞かせください。

町田 実行委員会とおして自分が大人になるということを実感できました。みんなで一丸となつて楽しい「はたちの集い」にしたいと思っています。

渋谷 成人を迎え、責任というものを感じて生きていきたいと考えています。

大園 今まで関わったすべての方に感謝し、素晴らしい「はたちの集い」にします。

志賀 みんなにとって、大きな節目となる式になるよう頑張りたいと思います。

薬 感謝の気持ちを第一に頑張ります。当日、司会をやりますのでよろしく願います。

市長 頑張ってください。成人を迎えるみなさんもぜひ参加して、実行委員の頑張りを、お互い刺激しあっていたらいいと思います。今日はどうもありがとうございました。

